モリンガの家庭菜園を楽しむ

モリンガを育てるために特別な知識や技能は必要ありません。

家庭菜園で花や野菜を育てた事のある人なら、だれにでもできます。

＜家庭菜園の楽しみ＞

1．モリンガは熱帯・亜熱帯の植物、発芽適温２０度以上、 10度以下になると枯れ、越冬には特別な管理が必要です。モリンガは成長が速く、露地植えの場合3mにもなります。従って1年草と同じ感覚で毎年生育を楽しむことが出来ます。

2．毎年4~5月頃種を蒔いて、春は新緑の綺麗な葉っぱを鑑賞し、夏 ~秋に葉を収穫し、 お茶やサラダにして食卓を飾って下さい。 11~12月にシーズンは終わります。

残念乍ら、日本の気候では鞘や種は期待できません。

3、モリンガを育てることで家庭菜園を楽しみながら自分と家族の健康な生活を守り、同時に貧しいインドの子供達の支援に結び付き、社会貢献への参加になります。

家庭菜園の **種はNGOインドの農村を考える会から入手できます。**

（対価は、恵まれないインドの子供達への寄付金となります。）

モリンガの概要については NGOインドの農村を考える会 のホームページ

（http://moringasb1025.org ）の**「モリンガ O&A 」**をご覧下さい。

＜モリンガの育て方＞

1．まずポリポットを用意、園芸店で花など買った時のものを再利用する。

2．土： ①赤玉土（中粒）をポットの底に入れ、その上に②培養土（又は腐葉土）を入れる。

水はけを良くし、水を十分にあげる。

3．モリンガの種を約 1.5～2cm程度に埋め ②培養土で上を覆う。

水をタップリあげ、太陽の良く当たる場所に設置する。

4．約1～3週間で発芽します。

発芽後、10cm程度まで成長したら、定植をしてください。

根がポットの底から出てきたら、ポットまた露地に定植できるようになります。

5．根を壊さぬよう慎重に移植し、移植後にタップリ水を上げて下さい。

6．プランターの場合、どうしても成長に限度あり 1～1.5m程度ぐらいになります。

露地植えの場合約3mぐらいまで生育します。

庭のある方は是非露地植えをお勧めします。葉っぱが多く取れること、花が咲きやすいこと、秋まで長く育てられることがメリットです。

もちろんポットで育てても利用するには十分です。

7．腐葉土を使うので肥料は私は余り気にしてはいません。

6～9月の生育期に肥料を与えると良いという意見もあります。

私は市販の液体の「活力剤」を時々与えています。